一般会計　　【社会教育課】

款	9 教育費	項	4 社会教育費	最終予算額	決算額
		目	1 社会教育総務費	59,833千円	59,288千円
担当課決算額				59,833千円	59,288千円

○人件費　51,004千円　　一般職　8人

○男女共同参画推進事業　458千円

・男女共同参画関係啓発活動　137千円

男女共同参画社会の実現に向けて、講演会等の啓発活動を展開しました。

男女共同参画コンサート（地区公民館と連携）

6月19日　まなびタウン会場　参加者140名

男女共同参画講演会（地区公民館等と連携）

9月28日　赤碕地区公民館会場　参加者 30名

12月1日　船上小学校会場　参加者 70名

また、北栄町・湯梨浜町と3町合同で作成した、男女共同参画啓発TCCミニドラマ「十人十色物語～笑顔で認めあって～」を6月の男女共同参画週間前に再放送しました。

・男女共同参画推進啓発委託事業　191千円

男女共同参画社会の実現を図るため、女性団体連絡協議会に男女共同参画啓発事業を委託実施しました。

10月17日　まなびのつどい　参加者161名

・琴浦町男女共同参画推進会議　130千円

男女共同参画社会の実現に向けて、研修会開催等の会が行う活動に補助を行いました。

主な事業

11月20日　琴浦町男女共同参画フォーラム　参加者　90名

10月11日～12日　日本女性会議参加（倉敷）　参加者　8名

「成果」 広い地域・内容・世代を対象とした啓発・学習活動を行うことができました。

「課題」 男女共同参画については、まだまだ啓発が十分とは言えない現状があり、今後も様々な機会を捉えて啓発推進を図る必要があります。

○社会教育振興　3,878千円

社会教育関係団体へ財政支援、情報提供等を行い、地域住民による自主学習活動を推進し社会教育関係団体を育成しました。また、社会教育委員会においてカウベルホールモニタリング第3者評価を行い、指定管理者活動への町民意見反映を進めました。

社会教育委員会　委員10人　10月２日、3月24日開催

社会教育関係団体財政支援

負担金: 県社会教育協議会負担金
県社会教育委員連絡協議会負担金
郡社会教育協議会負担金
県子ども会連合会負担金

補助金: 町連合婦人会補助金
町青年団補助金
PTA連合協議会補助金
東伯・赤碕文化協会補助金
青少年健全育成協議会補助金

「成果」 社会教育関係者や、社会教育団体の育成を図ることができました。

「課題」 生涯学習の深化とより幅広い実践推進のためのきっかけとなる仕組みづくりが課題です。

○生涯学習センター展示事業

各種グループの町民作品展では、活動者の発表の場を提供し、創作意欲の向上を図ると共に、来場者に、芸術文化に触れる機会を、さらには新規活動者を獲得する機会をつくり、芸術文化の振興を行いました。

・寿大学園芸コース作品展（5月9日～10日）
・琴浦町俳句展（5月16日～23日）
・おしゃべりサロンと竹細工教室合同展
（5月28日～6月2日）

作品展

「成果」多くの来場者に芸術に触れる機会を提供すると共に、活動団体育成ができました。
「課題」展示事業の周知と、継続的な展示の実施をしていく必要があります。

○寿大学　60千円

高齢者が自ら意欲を持って、生きがいを見出せるように各種講座の実施、趣味活動を通じた仲間づくり等を図りました。

一般教養コース　年10回
各種専門コース　コースにより週1回～月1回
学級生　218名

社会見学

一般教養コース

「成果」 一般教養コースでは講演会や社会見学などを開催し、「良い話を聞き、家族や孫を大切にしたいと思った」や「貴重な体験をすることが出来て良かった」など寿大学に参加して良かったという前向きな感想をいただいています。専門コースでは、親しい仲間を作ることで自主的な活動が増え、より楽しい人生を作り出すことに結びついています。
「課題」 多様化する学習ニーズに対応するために事業内容の充実が必要です。
また、学級生が年々減少傾向にあるため、学級生数の維持・増加を図る必要があります。

○青少年育成啓発事業　632千円

少年育成員を設置し、青少年の非行防止・健全育成を図るための活動を行いました。
少年育成員19名、夜間街頭指導：通年30回
子ども会のリーダー・育成者を対象に子ども会活動のあり方について研修を行いました。
3月5日（土）まなびタウンとうはく
参加者数：子ども 69名、大人 41名
「成果」 幅広い住民参加・参画を得ながら、青少年の健全な育成を図ることができました。
「課題」 青少年の課題は多岐に渡るため、関係機関協力体制の深化・改善によるより効果的な啓発事業展開が課題です。

○10秒の愛推進事業　32千円

10秒の愛実行委員と連携し、10秒の愛キャンペーンの見直しを行いました。
「成果」 10秒の愛の啓発とこれまで8年間続いてきた10秒の愛キャンペーンの総括を行うとともに平成28年度以降の取り組みについて検討し改善を図りました。
「課題」 家庭教育の支援としてより充実した内容で、より広い範囲の人々に的確に届くよう、改善された内容でのさらなる推進が必要です。

○ことうら子どもパーク　575千円

ことうら子どもパーク運営委員会に、ものづくり等体験教室「ことうら子どもパーク」開催を実施委託し、地域住民の手による子どもたちのものづくり体験活動の推進を図りました。

19回開催（草木染め、七宝焼き、ブローチ作り、エコクラフト等）

参加者数　延べ315名

「成果」 地域の方の参画を経て、子ども達と地域の方の親睦を図ることができました。

「課題」 教室内容の充実のため、新たな人材の発掘を進めて行く必要があ ります。

○わくわくみちくさ放課後教室　494千円

放課後・週末に地域住民の参画を得て学習・体験活動を実施しました。

放課後子ども教室　76回

参加者延べ　1,481名

「成果」 地域の方の協力を経て、放課後・週末における、子どもの居場所づくりを図りました。

「課題」 放課後児童クラブとの関わりについて、検討が必要です。

○文化活動事業　1,033千円

地域で活動する個人・団体等の文化活動家の日頃の活動成果を発表する文化祭を、まなびタウンで開催しました。

実施日：11月1日（日）～3日（火・祝）

会場：まなびタウンとうはく

入場者数：延べ2,448人

新たな文化活動者の確保及び団体活動の活性化を目的として、体験講座を開催しました。

文化活動体験講座開催団体　5団体　参加者 延べ109人

「成果」文化祭を、まなびタウンで、出品者数も昨年とほぼ同様で実施できました。

文化体験講座なども合わせて実施でき、文化振興を図ることができました。

「課題」文化活動を継続していくための後継者獲得・育成の場として、文化祭など文化活動者と町民とがふれあう機会を拡充していくことが必要です。

○家庭教育支援推進事業 164千円

家庭教育講座を開催し、子育てについての理解を深めました。

実施回数 12回　　参加者人数　延べ224名

「成果」 多くの参加者に、家庭教育の重要さを啓発できました。

「課題」 講座に参加していない人達に家庭教育の大切さをどう伝えていくか検討が必要です。

○無盡庵管理　185千円

高齢者同士の交流、地域交流の場として提供するため、管理運営を行いました。

「成果」利用者に事故なく、快く交流できる場を提供できました。

「課題」平成28年度から福祉コーディネーターが不在となり、定期的な維持管理が必要です。

管理方針の検討が必要です。

○地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業　773千円

スクールガードリーダー 2名　巡回指導　287時間

「成果」 通学路を中心とした子ども達の安全を確保できました。

「課題」 不審者事案の減少など一定の効果があったと判断し、27年度で事業を終了しました。

款	9 教 育 費	項	4 社会教育費	最終予算額	決 算 額
		目	2 公 民 館 費	48,599千円	48,075千円
担当課決算額				48,599千円	48,075千円

○公民館費　　48，075千円

地域の特色を生かした学習活動の推進と住民の生活課題、地域課題に即応した学習支援を行いました。また、幅広く公民館活動を展開し、町民の公民館利用促進を図りました。

各公民館の利用状況

区 分	青少年団体		成人団体		女性団体		高齢者団体		その他団体		合 計	
	延回数	延人数	延回数	延人数	延回数	延人数	延回数	延人数	延回数	延人数	延回数	延人数
八橋地区公	230	3,339	75	1,983	365	3,130	33	617	20	995	723	10,064
浦安地区公	110	1,473	312	4,023	10	120	131	1,366	1	17	564	6,999
下郷地区公	21	633	102	1,402	66	509	83	476	5	181	277	3,201
上郷地区公	28	189			18	153	88	696	182	1,636	316	2,674
古布庄地区公	1	12	51	1,231	26	177	63	541			141	1,961
赤碕地区公	65	1,276	53	1,341	256	1,932	204	2,422			578	6,971
成美地区公	135	2,773	90	1,597	136	770	47	540	97	2,723	505	8,403
安田地区公	24	710	70	913	223	1,769	136	1,183			453	4,575
以西地区公	8	332	8	93	98	644	71	548	37	795	222	2,412
	622	10,737	761	12,583	1,198	9,204	856	8,389	342	6,347	3,779	47,260

「成果」 身近な学習拠点として、地域学習活動の推進と学習を通じたｺﾐｭﾆﾃｨ形成を図りました。
また、必要課題講座リスト「ことうら“まなびリスト”」の活用推進により、浦安地区公民館・小学校での木育をテーマにした環境学習など、学習内容の深化を図ることができました。

「課題」 各種事業への地域課題等必要課題反映度の向上と、要求課題とのマッチングへの工夫、住民自らが学習活動を行う機運づくりの推進等、さらに工夫していく必要があります。

款	9 教 育 費	項	4 社会教育費	最終予算額	決 算 額
		目	3 文化財保護費	76,047千円	10,835千円
担当課決算額				76,047千円	10,835千円

○町内文化財保護事業　　8,635千円

・町指定等文化財の管理に要した経費　　1,597千円

・無形民俗文化財補助事業　　60千円

県指定「三本杉の盆踊り」町指定「逢束盆踊り」「以西おどり」を後世に継承保存するため、各保存会に対して補助を行いました。また、各種大会等に積極的に参加しました。

・神崎神社本殿保存対策事業費補助金　6,257千円

・町指転法輪寺ムクロジ枝倒木処理補助金　50千円

・河本家住宅古典籍保存対象補助金　87千円

・河本家住宅蔵屋根修繕事業補助金　84千円

・河本家住宅公開事業補助金　500千円

一般公開日　　4月29日（火）～　5月 5日（月）　　入館者　602名

10月11日（土）～ 10月17日（金）　　入館者　267名　年間入館者　1,805名

○民俗資料館管理　517千円

歴史民俗資料を児童等の学習教材等に利用して歴史等の学習に役立てたました。
また、資料館の見学者への説明や資料の整理・保存等を行いました。

・寺子屋古文塾（図書館共催）

教育委員会所蔵の古文書等を活用した、古文書解読の講座を開催しました。
開催日：2月27日、3月12日、19日、26日　受講者：延べ62名

○大高野遺跡保存・活用推進事業　974千円

・大高野遺跡保存・活用計画検討委員会設置
8月6日　2月26日　検討委員会　2回開催
槻下周辺の遺跡の適正保存と活用について検討を行いました。（期間：H27年～H29年）
・大高野官衙遺跡指定地の公有地化準備を行いました。

「成果」 河本家一般公開や赤崎台場追加指定記念講演会などを通じて、文化財の理解を深めました。
大高野官衙遺跡が国史跡に指定されたことから検討委員会を設置し斎尾廃寺と併せ適正な保存と活用に向けた検討委員会の運営を行いました。

「課題」 文化財や事業の積極的な管理とPRが必要です。

○赤崎台場跡保存・活用推進事業　628千円

［成果］「鳥取藩台場跡　赤崎台場跡調査報告書」を発刊しました。また、7月に文化財保護審議会へ鳥取藩台場跡への追加指定の意見具申を行い、11月には追加指定の答申、平成28年3月には追加指定されました。また、8月にはダイバツアーを平成28年2月には講演会を実施し、普及に努めました。

［課題］ 追加指定を受け、保存活用計画の策定を行います。

○町誌編さん事業　81千円

［成果］ 町誌作成するため編さん委員会を設置しました。

［課題］ 合併10周年を契機に、町誌編さん・データ化を図ります。

款	9　教育費	項	4　社会教育費	最終予算額	決　算　額
		目	4　埋蔵文化財発掘調査費	2,370千円	2,342千円
担当課決算額				2,370千円	2,342千円

○町内遺跡発掘調査事業　2,342千円

民間の太陽光発電施設建設及び国道9号改修工事に伴い、予定地内にある笠見第3遺跡、別所22号墳の試掘調査を実施しました。

「成果」 笠見第3遺跡は、10本のトレンチを設定し調査、弥生時代の貯蔵穴、縄文時代の落とし穴等を確認、別所22号墳ではトレンチを3ヶ所設定し、東西方向の溝を確認、溝からは古墳時代の土師器と共に近世の陶器も出土、北側に古墳時代前期の笠取塚古墳の後方部があることから、周濠の可能性があります。

「課題」 笠見第3遺跡では近接地で全面調査実施、今回の調査でも遺構を確認したため、周辺での開発行為がある場合、調査が必要となります。
別所22号墳では、H28全面調査を行うこととなりました。

款	9　教育費	項	4　社会教育費	最終予算額	決　算　額
		目	5　生涯学習センター運営費	28,236千円	27,659千円
担当課決算額				28,236千円	27,659千円

○生涯学習センター管理費　　27,659 千円

生涯学習施設として、町民等に学習の場の提供と施設の維持管理を行いました。

生涯学習センター利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延回数	122	171	166	137	119	120	124	175	136	154	153	108	1,685
延人数	2,223	3,335	4,109	3,312	3,953	2,343	4,494	3,839	2,828	3,519	4,011	3,170	41,136

「成果」 学習拠点として、幅広い研修の場として活用され、利用件数が増加しています。

「課題」 施設の効果的運用及び、長期的維持管理計画の検討が必要です。

款	9　教育費	項	4　社会教育費	最終予算額	決　算　額
		目	6　図書館費	44,692千円	43,648千円
担当課決算額				44,692千円	43,648千円

○人　件　費　　30,949千円

一般職 2人(1人兼務)　　嘱託 1人　　臨時　11人（本館 9人、分館　2人）

○琴浦町図書館図書等購入費　　5,946千円

本館(移動図書館車含む) 赤碕分館において、町民の利用に供するための図書等の資料を購入しました。

区分	本館	赤碕分館	計
図書等購入費	4,977千円	969千円	5,946千円
蔵書数	141,955冊	31,516冊	173,471冊
図書等資料貸出数	91,087冊	19,778冊	110,865冊
図書館利用者数	54,557人	23,397人	77,954人

開館日数　　本館292日、赤碕分館292日

○琴浦町図書館活動費　　6,753千円

おはなし会や読書週間イベントなどを開催し、子どもたちが読書に親しむ機会を提供しました。

新聞、雑誌等購入し、利用者への資料提供を行いました。

ブックスタート

クリスマス会

○移動図書館車巡回

移動図書館車による地域への本の貸出サービスを行い、利用者の利便性を図りました。

保育園・子ども園・小学校等　14ヶ所　　部落等　23ヶ所　　福祉施設等　7ヶ所

「成果」 仕事と暮らしに役立つ図書館を目指し、時節にあった企画展示を行いました。

人の成長・学びを支える図書館を目指し、子どものころからの読書習慣の定着を図りました。

郷土の文化を育む図書館を目指し、古文書講座を開催したりするなど、図書館を活用してもらえる取り組みをしました。

「課題」 図書館職員は、経験と司書資格のあることが大きく影響されるので、職員(正職員)の確保が必要です。

款	9　教 育 費	項	4　社会教育費	最終予算額	決　算　額
		目	7　カウベルホール運営費	53,941千円	53,741千円
担当課決算額				53,941千円	53,741千円

○カウベルホール運営費　　53,741千円

特定非営利活動法人　花本美雄文化振興会を指定管理者とし、基本協定に基づいて管理運営を委託実施等行いました。

また、建築後30年を経過する施設の改善のため、照明設備改修などの長寿命化工事を行い、より安心・安全な文化芸術発信拠点の整備に努めました。

カウベルホール利用状況

	ホール		ロビー		会議室		和　室		計	
月	利用回数	利用者数	利用回数	利用者数	利用回数	利用者数	利用回数	利用者数	利用回数	利用者数
4月	4回	410人			4回	37人	1回	20人	9回	467人
5月	4回	257人	3回	70人	3回	50人	1回	30人	11回	407人
6月	13回	1,602人	7回	860人	5回	140人			25回	2,602人
7月	12回	1,900人	2回	50人	4回	430人	2回	20人	20回	2,400人
8月	4回	440人	1回	20人	4回	65人			9回	525人
9月	3回	290人	4回	20人	6回	66人	2回	8人	15回	384人
10月	15回	2,425人	4回	16人	8回	124人	2回	8人	29回	2,573人
11月	13回	3,250人	6回	615人	8回	100人	2回	5人	29回	3,970人
12月	10回	1,100人	11回	176人	5回	38人	2回	8人	28回	1,322人
1月	5回	895人	6回	27人	5回	320人	2回	6人	18回	1,248人
2月	7回	1,160人	8回	31人	7回	47人	2回	6人	24回	1,244人
3月	3回	570人	10回	137人	9回	140人	2回	6人	24回	853人
合計	93回	14,299人	62回	2,022人	68回	1,557人	18回	117人	241回	17,995人

「成果」 琴浦町で初めての公募型の指定管理制度摘要事例として、指定管理者制度摘要施設モニタリング基本方針に基づき、活動状況の適正な把握・評価に努めました。

「課題」 建設30年を超え、照明・音響・空調など諸設備の維持が難しくなっており、引き続き長寿命化工事に取り組む必要があります。

款	9　教育費	項	5　保健体育費	最終予算額	決　算　額
		目	1　保健体育総務費	24,748千円	24,629千円
担当課決算額				24,748千円	24,629千円

○人件費　　13，404千円

一般職 2人

○一般管理　　11，225千円

社会体育に関する一般的な管理運営を行いました。

一般会計　　【社会教育課】

款	9　教育費	項	5　保健体育費	最終予算額	決　算　額
		目	2　体育振興費	11,343千円	10,782千円
担当課決算額				11,343千円	10,782千円

○社会体育指導及び推進　　2，465千円

・スポーツ推進委員活動　　・スポーツ推進委員（27人）

心身ともに健康で明るい町づくりのため、スポーツ推進員の研修・活動を推進しました。

研修会

琴浦町スポーツ推進委員会定例会・実技研修（琴浦町）毎月（年12回）
中国地区スポーツ推進委員研修会(鳥取市)　　6月27・28日　参加者　11名
全国スポーツ推進委員研究協議会（愛媛県）　　11月12・13日　参加者　8名
東伯郡スポーツ推進委員研究大会（三朝町）　　1月16・17日　参加者　20名
東伯郡・倉吉市スポーツ推進委員実技研修会（湯梨浜町）　7月26日　参加者　16名
県スポーツ推進委員リーダー研修会（倉吉市）　　9月19日　参加者　1名
琴浦町スポーツ推進委員会救命講習会（琴浦消防署）12月13日　参加者17名

スポーツ推進委員会主催事業

体力づくり教室（ストレッチ体操、スポンジテニス）
9月17日～10月15日　毎週木曜日　5回　参加者　54人、延べ103人（4会場）
町民体力づくりウォーキング（上郷地区～小田股ダムを訪ねるコース）
11月3日（火）文化の日　参加者　33人
体力づくりスポレク祭（スポンジテニス）
2月21日（日）　参加12チーム　総勢90人

その他

各地区公民館・町スポレク祭・白鳳祭・町内外駅伝大会（3回）・集落健康体操指導（9回）
小学校親子会（1回）・労務改善協議会ペタンク交流会等の事業協力を行いました。

「成果」 健康づくりを目指し、スポーツ推進委員の研修機会の設定を行い、その成果を普及推進に役立てました。

「課題」 子どもから高齢者まで、生涯スポーツ等を楽しむための指導者研修や、健康寿命一歳延命のためにスポーツを体験する機会を継続的に取組む必要があります。

・スポーツ・レクリエーションの祭典

スポーツ・レクリエーション祭を開催することにより、ニュースポーツの紹介・普及を図り、町民の体力向上と親睦を進めました。

スポーツ・レクリエーションin琴浦　6月7日（日）　参加者　70チーム他
種目：バドミントン・グラウンドゴルフ・ソフトテニス・ソフトボール・ペタンク
バウンスボール講習＆交流大会・ノルディック・ウォーキング講習会

「成果」 子どもから高齢者まで取組みやすいスポーツを選定し、町民の体力向上と親睦が図られました。

「課題」 参加者が固定しつつあるので、啓発活動・種目の見直し等検討が必要です。

○郡・県・全国大会選手派遣　　4，689千円

郡民体育大会、県民スポーツ・レクリエーション祭、全国大会に参加する町代表選手の参加補助を行いました。

・郡民体育大会　　参加者　1,199人（大人782人・子ども417人）
・県民スポーツ・レクリエーション祭　参加者　59人（大人）
・各種全国大会　　参加者　58人

「成果」 郡民体育大会において、常日頃の練習の成果として、男子6年連続優勝、女子は2年連続3位でした。男女合わせて12競技で優勝しました。

「課題」 今後に向け各年齢層、競技人口が減少傾向にある種目（バレー、バスケット、水泳）やグラウンドゴルフ、ゲートボール、ペタンクなどのレクリエーションスポーツも強化を図る必要があります。

○町体育協会育成及び各部奨励　　2，301千円

体育協会の主催する各種スポーツ大会及び教室活動を支援し、より一層のスポーツ振興を図りました。

・町体育協会事業

事業名	開催日	参加人数
春季ゴルフ大会	4月5日	36人
春らんまんソフトバレー大会	4月5日	24チーム
体協グラウンドゴルフ赤碕大会	5月16日	118人
春季ゲートボール教室	6月2日～7月28日（毎週火曜日）	9人
町長杯卓球大会	5月16・17日	60チーム
ナイター野球リーグ戦	5月16日～10月19日	18チーム
体協グラウンドゴルフ東伯大会	5月18日	134人
スポーツ・レクリエーションin琴浦	6月7日	
（ソフトボール）		3チーム
（バドミントン）		9チーム
（ソフトテニス）		24チーム
（グラウンドゴルフ）		40チーム
（ペタンク）		4チーム
（ﾊﾞｳﾝｽﾎﾞｰﾙ講習＆交流大会）		18人
春季テニス大会	5月24日	16人
夏季ゴルフ大会	8月30日	49人
駅伝競走大会	9月20日	50チーム
秋季ソフトボール大会	9月27日	6チーム
秋季ゲートボール教室	10月6日～11月12日（毎週火曜日）	9人
秋季テニス大会	10月12日	16人
バスケットボール大会	10月25日・11月29日・12月20日	16チーム
秋季ゴルフ大会	10月25日	28人
総合バドミントン大会	11月22日	10チーム
銃剣道大会		中止
剣道大会	1月31日	
ソフトバレー大会	11月15日	21人
9人制バレーボール大会	12月 6日	10チーム
元旦マラソン＆ウォーキング大会	1月 1日	258人
武道館鏡開き	1月 10日	70人
新春フットサル大会	1月11日	30チーム
キッズサッカーフェスティバル	2月20日	21人
卓球大会	3月 6日	25チーム
柔道教室	4月1日～ 3月26日（毎週　土曜日）	8人
陸上教室	4月11日～ 3月26日（毎月　第2、4土曜日）	19人
水泳教室	6月15日～7月31日（毎週　月・水・金曜日）	61人
ソフトテニス教室	8月22日～ 10月3日（毎週　土曜日）	13人
テニス教室	8月19日～ 10月28日（毎週　水曜日）	13人
スキー＆スノーボード教室	1月 23日	7人
キッズサッカースクール	2月20日	25人
小学生相撲教室	3月23日～ 4月20日（毎週　水曜日）	4人

「成果」 今年度は、金田優作さん（国民体育大会　自転車競技ポイントレース 優勝）・澤田拓矢さん（国民体育大会 カヌー競技スプリントC-2準優勝）他多数の全国大会入賞者がありました。

体育協会の各部主催の事業を補助し、より一層のスポーツ振興が図られました。

「課題」 各種大会において、他行事等と重なり参加者の減少となった大会がありました。

開催時期等の検討が必要となっています。

・町スポーツ教室

琴浦町スポーツ教室　第20周年記念講演会　講師：日本体育大学　名誉教授　清原伸彦氏

11月24日(火)＜カウベルホール＞　250名

「成果」 記念講演会として、集団行動の指導者として名高い清原先生を講師に、常に指導者としての心構え・技術習得・環境・感謝の心を持ち、スポーツや職場・立場・場面に立ち向かえば良いか姿勢等学ぶ事ができました。

「課題」 それぞれ異なったスポーツ指導者や職場に於いて、常にアンテナを高くし、より良い情報・学習の場を持ち、次に適切な伝達ができるか課題となっています。

第20回琴浦町スポーツ教室交流会(ﾊﾞｽｹｯﾄ)講師：島根ｽｻﾉｵﾏｼﾞｯｸ　山本ｴﾄﾞﾜｰﾄﾞ選手他6名

1月9日(日)＜総合体育館＞　70人

「成果」 プロバスケット選手に指導を受ける事により、技術力のアップやスポーツに対する姿勢などを学び、今後のスポーツ少年団活動等の促進に努めました。

「課題」 招聘するプロ選手の競技種目に偏りがあるため、魅力ある講師の選考が必要となっています。

・駅伝大会参加

中部地区駅伝・米子－鳥取間駅伝と、選手の皆さんの団結と練習成果により、優秀な成績が残せました。

第69回中部地区駅伝競走大会　　9月13日

市町の部　5位　琴浦A・9位　琴浦B(出場10チーム)

一般の部　3位　チーム琴浦　　(出場 4チーム)

第70回米子・鳥取間駅伝競走大会　11月7・8日

出場:市町の部10チーム　　成績：市町村部 琴浦A　5位・琴浦B　9位

一般の部　4チーム　成績：チーム琴浦　3位

「成果」 米子－鳥取間駅伝は、町内中・高生を交え、世代交流したチーム作りをし3チーム出場しました。

「課題」 選手の年齢層が高くなり、若年層の選手育成が課題となりつつあります。

○ガイナーレ鳥取連携事業　32千円

町内から観戦者の動員を図るとともに、観客に対し琴浦町のPRを行った。

また、ホームタウンデイの事前イベントでは、選手を迎えてサッカー遊び、復活公園遊びを行いプロ選手との交流を行いました。

・10月10日(土)ｻｯｶｰ教室・復活公園遊び　参加者34人

・10月18日(日)ｶﾞｲﾅｰﾚ鳥取　対　ﾌﾞﾗｳﾌﾞﾘｯﾂ秋田　観客2,253人

会場：ﾁｭｳﾌﾞYAJINｽﾀｼﾞｱﾑ　　牛骨ﾗｰﾒﾝ販売・琴浦PR、JA梨提供

○オリンピック出場選手支援事業　171千円

リオデジャネイロ・オリンピック　アーチェリー競技出場川中香緒里選手の出場決定を祝し帰町報告会並びに役場本庁舎に懸垂幕を設置、各施設にPR掲示を行い栄誉を称えました。

○琴浦でアーチェリー推進事業　175千円

2012年のロンドンオリンピックに出場した川中香緒里選手の活躍を機会に、アーチェリー競技を琴浦町で盛り上げようと、アーチェリー教室を2期開催しました。

・参加者　9人

○スポーツ少年団育成強化　908千円

スポーツ少年団活動支援を通じて、少年団の心身ともに健全な育成を図りました。

団　名	団員数	活　動　日
琴浦野球	18人	毎週　月・水・金
赤碕野球	22人	毎週　月・水・金
八橋バレーボール	17人	毎週　火・木
浦安バレーボール	6人	毎週　月・木・土
東伯バレーボール	14人	毎週　火・金
赤碕SHIPSバレーボール	23人	毎週　火・木・土
琴浦ミニバスケットボール	32人	毎週　月・水・土
東伯バドミントン	21人	毎週　火・木・金　〔中学生〕月
琴浦卓球	53人	毎週　火・木・土
東伯サッカー	25人	毎週　水・金
成美サッカー	26人	毎週　月・水・金
東伯剣道	26人	毎週　月・水・金
赤碕剣道	19人	毎週　月・水・金
琴浦空手	31人	毎週　月・水・金
琴浦相撲	0人	毎週　水

「成果」 体を動かす事の楽しみや、喜びを知り基礎的な運動能力や運動習慣を身につけ、生涯にわたりスポーツを楽しむ基盤となっています。

「課題」 スポーツを通した心身の健全育成を図るため、保護者及び指導者と連携を強化することが必要となっています。

○運動習慣定着事業 42千円

運動習慣が定着するよう、膝や腰に負担が少なく、ウォーキングに比べ身体全体を動かす事のできる、ノルデックウォーク体験会を,年間2期各3回開催しました。

[成果]「ポールを使用することで、坂道が上りやすくバランスよく歩けるようになった」「仲間が会えるのが楽しい」など、運動・交流の場となっています。

[課題]　ノルデックウォークの認識が低く、色々な機会を通じ普及に努める必要があります。

款	9　教育費	項	5　保健体育費	最終予算額	決　算　額
		目	3　体育施設費	36,459千円	35,464千円
担当課決算額				36,459千円	35,464千円

○社会体育利用施設管理　　581千円

町民が利用する、社会体育施設の維持管理を行いました。

（東伯総合公園・赤碕総合運動公園・農業者トレーニングセンターは除く）

モップ交換（総合体育館、農業者トレーニングセンター、旧安田・以西・古布庄小、東伯・赤碕武道館、赤碕・東伯勤労者体育センター、東伯中体育館）

○平岩記念会館管理運営　　947千円

青少年が宿泊研修できるよう管理運営を行いました。

畳表替え

施設利用状況　　（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	91	118	81	200	215	261	93	83	168	83	79	103	1,575

○東伯総合公園管理　13,254千円

東伯総合公園の維持管理を行いました。

ﾃﾆｽ場ｺｰﾄ修繕、中庭ｹﾔｷ伐採、ｲﾍﾞﾝﾄﾃﾝﾄ購入（2張）、卓球台購入（2台）

ﾛﾋﾞｰ網戸設置、ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ支柱ｶﾊﾞｰ購入（2対）

施設利用状況　　（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	3,880	4,147	4,526	4,838	8,752	5,859	5,534	4,860	2,121	2,719	3,101	2,641	52,978

○農業者トレーニングセンター運営　　5,672千円

町民のｽﾎﾟｰﾂの普及・振興・健康づくり事業の開催並びに、施設の維持管理を行いました。

トレセン入口看板設置、2階ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ取替修繕、1階網戸設置、裏倉庫外壁修繕、入口ｱｰﾁ撤去、ﾌﾟﾘﾝﾀｰ付ｽﾄｯﾌﾟｳｫｯﾁ購入

施設利用状況　　（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	1,248	2,189	2,909	1,529	610	1,525	2,262	2,211	1,306	1,091	2,442	1,654	20,976

○赤碕総合運動公園運営　　11,159千円

赤碕総合運動公園の維持管理を行いました。

ﾃﾆｽ場ﾄｲﾚ様式化（男女）、野球場分電盤絶縁改修、第1ｷｭｰﾋﾞｸﾙ取替、事務室ｴｱｺﾝ設置、ﾃﾆｽ審判台購入（2台）

施設利用状況　　（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	1,079	1,993	1,719	899	1,314	898	1,424	822	90	18	43	750	11,076

※12月～2月は休園（テニス場のみ使用可能）

○勤労者体育センター管理運営事業　　605千円

勤労者体育センターの適切な管理運営を行い、利用者の健康増進を図りました。

施設利用状況（赤碕）　　（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	108	224	119	83	91	173	165	141	399	384	460	327	2,674

施設利用状況（東伯）　　（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	1,225	851	722	911	779	835	1,465	1,361	1,365	1,497	829	810	12,650

「成果」 スポーツ施設の拠点として、町内外の利用者に喜ばれるよう維持管理を行いました。

・町スポーツ教室(総合体育館会場・農業者ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞｾﾝﾀｰ会場)を年間3期に分けて開催し、自主グループもでき、体力づくりの和が広がっています。

・廃校になった旧小学校体育館の利用もあり地域での健康づくりが行われています。

「課題」 各施設の老朽化により、修繕箇所も多くなり施設管理費が増加しています。

○閉校管理事業　3,246千円

閉校になった小学校（古布庄小学校、安田小学校、古布庄小学校）の維持管理を行いました。

以西体育館排水施設修繕工事312千円

「成果」 今後の活用に備えた施設の維持管理を行いました。

「課題」 施設利用者が少なく、常駐者もいないため施設の損傷状態に気づきにくいため定期的な点検が必要です。